

たったいま、 地震が起きたなら…。

もし、たった今、大地震が発生したら…。あなたやあなたの家族は、どのような行動をするのでしょうか。9月1日の「防災の日」が過ぎてしまうと、私たちは、つい日常生活に追われ、防災のことなど忘れがちになってしまいます。しかし、自然は気まぐれ。去る7月に発生した、伊豆半島東方沖の群発地震に続く海底噴火の例をみるまでもなく、“自然の脅威”は、予告もなしに突然襲いかかってきます。災害は、いつ、どこで、私たちの身にふりかかってくるかも知れないのです。今回のような比較的小さな地震でも停電や道路の損壊、がけ崩れ、ガス管亀裂などの被害に加え、負傷者がでるなど、あらためて地震の恐ろしさ、自然の脅威を思い知らされました。「防災の日」は年に一度ですが、心がまえや備えは、一年中忘れずにいたいもの。“どうすれば、災害から自分や家族を守ることができるのか”“そのためには、普段から何をすればよいのか”など、地震をはじめとする災害対策についても、もう一度、家族や自主防災組織の中で話し合ってみましょう。

備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。
 そなえる…用意する、そろえる、用心する
 防備。常備。完備。不備。具備。兼備。
 そなえ…したく、用意、警戒、防御
 備品。設備。備蓄。備員。備考。備忘。
 そなわる…準備ができる、身に付く
 ●●●ソナエ アレバ ウレイナン!!



1989

9

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
.	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

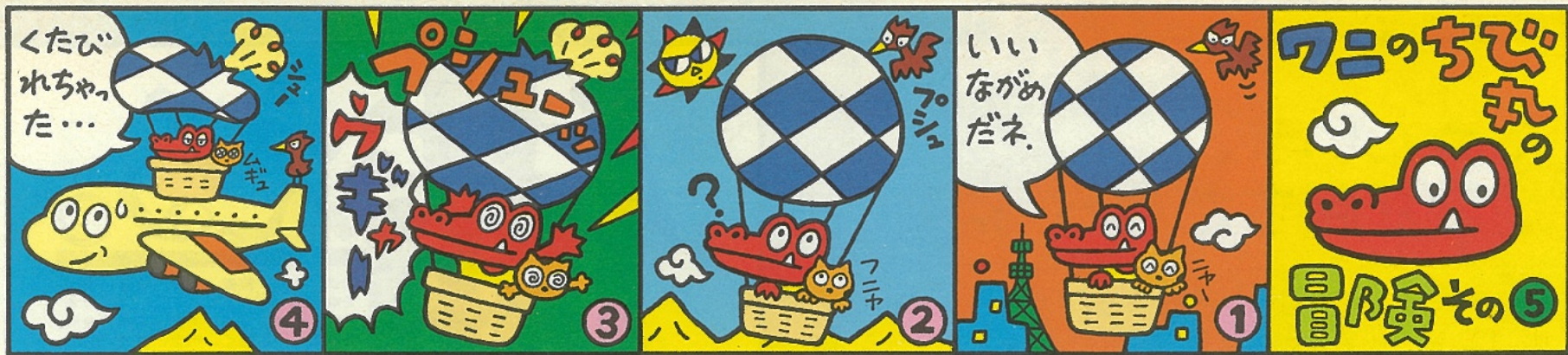
■毎月15日は川崎市民地震防災デーです。



かわさき NO
防災広報紙

1989年(平成元年)8月31日発行
 発行所 川崎市
 編集所 土木局防災対策室
 〒210川崎市川崎区宮本町1番地
 TEL. (044) 200-2111(内線2841)

61



皆さんの家では、万一の時に備えて、家族で話し合いをされたことがありますか。

「グラツときた時の火の始末、小さい子どもやお年寄りの世話是谁がするのか」などの家族の役割分担、また、家族が外出中に地震が起きた時の落ち合う場所や連絡方法、非常持出品などふだんから

いざという時のために、普段からできることについて意外とある。

心がけておかなければならないことがたくさんあるはず。ちょっとしたふだんの心がけの違いが、実際の地震では思わぬ被害につながります。

毎月15日の「市民地震防災デー」を家族で話し合いをもつ定例日にして、その都度準備の進み具合など点検されてはいかがでしょうか。

家の中の安全点検をしましょう。

宮城県沖地震では、ガラスの破片、家具の落下・転倒などが原因で多数の人が家の中でけがをしています。また、7月の伊豆半島東方沖地震でも家具、とくに長いタンスや食器棚が倒れ、けがにつながったといわれています。食器棚、タンス、書棚などには、必ず転倒を防ぐための金具をとりつけましょう。

高い所にあるものは、地震時には凶器に早変わりする心配もありますので、置き場所や固定のしかたには細心の注意を払いましょう。寝室や乳幼児を寝かせておく部屋は、思いきって整理し、どうしても必要な家具は、念入りに安全対策を施しておきましょう。家中で身を守るには、どこが一番安全な場所かをふだんからよく考えておくのも大切です。

備蓄品・非常持出品の備えは大丈夫でしょうか。

被害の大きい地域では、住民の非難や救出救護など人命を守る活動が第一となり、道路が不通となるなど、どうしてもその他の活動は遅れてしまいますので、家族の3日分程度の食料と水はぜひ備えておきましょう。

その他情報を確認するためのトランジスタラジオ、懐中電灯、救急箱、また、赤ちゃんのいる家庭ではミルクやほ乳ビンなど家族構成によっても違ってきますので皆さんよく話し合ってください。日頃から十分な準備を整えておくべきです。伊豆半島東方沖地震では缶詰、インスタントラーメン、パツク入りの水などがよく売れたそうです。宮城県沖地震では、ガスや水道がとまったため、非常食のつもりで用意しておいたインスタントラーメンや冷凍食品は全く役に立たなかったといわれています。乾パンやビスケットなどそのままで食べられるものを用意し、ガスがとまった時のために、キャンプなどで使う固形燃料やガスボンベのついた携帯用コンロが大変

便利です。

飲み水以外に風呂おけやバケツ、洗濯機などに水をためておくというのは大変助かります。ふだんからできるだけ水をためておく習慣をつけておきましょう。

市では、震災時における応急給水体制として、給水タンク車による運搬給水のほか、送・配水管を利用した臨時給水所(市内57箇所)を開設し、飲み水の確保に努めています。お問い合わせ先…水道局企画課200-3150

避難場所を確かめておきましょう。

市では、震災時の避難場所を定め、主要箇所に標識板・案内板を設置しており、災害時には職員を派遣し、情報連絡などを行います。避難する時は、まず火の始末を、できるだけ地域の人がまわって避難するようにしましょう。避難は徒歩が原則で、車は使わないでください。

自分の家族の避難場所がどこに指定されているのか確かめておきましょう。そして、休みの日にも一度家族そろって避難場所までのコースを歩いてみたり落ち合う場所を決めてはいかがでしょうか。

信頼できる情報に基づいて行動しましょう。

市では、防災行政無線を使って市民の皆さんに必要な情報をお知らせします。

避難場所や急傾斜地などを中心に屋外受信機を100箇所教育・社会福祉施設や自主防災組織の代表者のお宅を中心に戸別受信機を1,850箇所設置しております。



ので、市民の皆さんは屋外受信機はどこにあるのか、戸別受信機はどのお宅に設置されているのかの確認を、また、戸別受信機を設置してある方は、災害時に確実に受信できるように、毎月15日の市民地震防災デーの放送を聞いて受信状況の確認をお願いします。

また、市では災害時における放送協定をアール・エフ・ラジオ日本、NHK横浜放送局、横浜エフエム放送、テレビ神奈川各社と締結し、市内の情報をお知らせするようにしています。災害時の混乱した状況では、よくデマ情報が乱れ飛びますが、信頼できる情報に基づいて行動し、いたずらに不安がらず、デマなどに惑わされないようにしましょう。

屋外受信機

簡単な応急手当の方法を身につけておきましょう。

大地震の時は、一瞬のうちに多くの死傷者が出るため、すべての救急要請に対応することは不可能です。軽いけがは自分たちで処置できるように、ふだんから救急箱を準備し、簡単な応急手当の方法を身につけておきましょう。応急手当としては、包帯やガーゼで出血を止める傷の手当や、そえ木を使う骨折の手当などのほか、やけどやねんざの手当も覚えておくと助かります。9月9日は救急の日です。町内会や自治会などでまとまって、一度講習を受けておきたいものです。

防災講演会開催される。

去る7月27日、幸区の産業振興会館で、市民の皆さん、自主防災組織の代表の方々と、そして市職員ら280名が参加し、防災講演会が開催されました。毎月15日の「市民地震防災デー」の一環として行われたもので、講師には、宮城県沖地震や三原山噴火をはじめ数多くの災害現場の取材を担当されたNHK解説委員の吉村秀實氏を招き、記者からみた災害現場という観点から「安全について考える」というテーマで講演をいただきました。

市では、今後も防災啓発として各種研修会等を予定しておりますので、市民の皆さんの積極的な参加をお願いします。



5 こちらお天気情報室

日本は世界でも指の多い雨の多い国で、四季を通じてよく降るのが特徴ですが、日本列島は南北に長いえ、海の影響を受ける沿岸部と受けにくい内陸部があり、また、日本列島を縦断している山脈の影響など地形による気象条件の違いにより降水量の差が全国各地に見られます。

さて、東京で一歩雨が降る月はと質問されれば、たいいての人は6月と答えるでしょうが、実際に雨量を調べてみると、9月がトップになっています。秋といえば、澄んで晴れわたった秋晴れの空を連想しますが、実は台風などの影響に加えて、9月中旬から10月半ばまでは一種の雨期に入るため、雨量が多くなるのです。日本では長雨といえば梅雨だけを考えがちですが、「秋雨」とか「秋霖」と呼ばれる、シトシと降る秋の雨も、その代表格なのです。

日降水量の記録(1988年気象年鑑より)

順位	地名	降水量(mm)	年月日	気象現象
1	日早(徳島)	1114	1976(昭51) 9.11	台風17号と前線
2	西郷(長崎)	1109.2	1957(昭32) 7.25	前線(課早豪雨)
3	大台ヶ原山(奈良)	1011	1923(大12) 9.14	台風
4	前鬼(奈良)	976.2	1954(昭29) 9.13	台風12号
5	小見野々(徳島)	953	1974(昭49) 7.6	台風8号
6	柿の又(高知)	903	1975(昭50) 8.17	台風5号
7	田辺(和歌山)	901.7	1889(明22) 8.19	台風
8	本戸(福井)	844	1965(昭40) 9.14	台風24号の前面の前線
9	田口原(宮崎)	839	1971(昭46) 8.29	台風23号
10	白川(和歌山)	831	1959(昭34) 9.26	伊勢湾台風